

丹後 京都府

『鳴き砂』で有名な琴引浜の全景。足を踏み入れると『キユツ、キユツ』と奏でるその音色は、花崗岩を構成する石英の丸い砂粒が堆積し続け、しかも油など海洋汚染の災禍からも無縁などなど、いくつもの条件が重ならなければ生まれない。まさに『神の成せる業』そのものだ。



観光立国をめざして

鳴き砂の実演と環境を伝える地元ガイドさん



伊根の舟屋。海と接して生きる漁師さんの生活そのものに触れた



山陰海岸の魅力は豊かな海藻（ワカメ）

日本海形成の主役を演じる大陸時代の安山岩の姿



文・撮影／高野弘二 水中・水辺のフォトジャーナリスト。高知県出身 大阪府豊中市在住。国内外の水中・水辺をテーマに撮影、国内外の新聞、雑誌、広告などに掲載・採用される他、マレーシア、香港、中国など、日本の各国政府観光局からの撮影取材依頼も多数。執筆や公演も手掛け、加えて自らが作詞・作曲した歌に乗せて自然の尊さをギターで弾き語る「高野弘二フォトコンサート」も主催するなど

日本海ジオパークを水中探訪

日本海に目を向けるきっかけとなったのは都府伊根町「舟屋」の前の海に潜った時から。半水面で見た家々の姿、そして、海と暮らす漁師さん。舟屋の前を潜るとサザエやアワビに軒下の海面下1mほどで出会った。育った太平洋側の高知で触れた海とはずいぶん違っていた。

昨年、山陰海岸ジオパークを訪ね取材する機会を得た。日本海は撮影拠点を置く大阪からも近い。「ジオ」とは、地球や大地を意味する接頭語という。エリア内の海岸では日本海が誕生したドラマを地質から知ることが出来る。日本海形成の地球大変動を起こしたマグマと、その後固まった花崗岩はまさに古の語り部。多彩な海岸地形は、山々の滝や溪谷誕生にも影響を与えた。

豊かな海の幸を育てる山陰海岸。環境が守られその価値を未来に共有できる。また琴引浜の「鳴き砂」も極めて貴重な自然の産物だ。砂は決して湾外に流出しないという。湾と山の地形による絶妙のバランスの成せる業で、砂の純度を保ちながら「音」で環境保護の大切さを自ら発し続けている。

協力：山陰海岸ジオパーク推進協議会